

◆ おらほの地域から元気発信 ◆

まちづくりなみえ 地域づくり支援専門員が見た津島地区

地域の紹介 津島地区

全域が帰還困難区域となっている津島地区も、来年春には特定復興再生拠点のエリアで避難指示が解除されます。しかし、解除される面積は津島全体のわずか1.6%と、復興へ向けてはまだまだこれからの地区です。

一時立入許可を取り、今回は津島行政区の集会所を氏家高志区長に見せてもらいました。

室内は原発事故直後に避難所として活用された時のままで、3月14日付の新聞が置かれていました。また、郷土芸能の衣装や道具、太鼓なども保管されていて「震災前までは稲荷神社のお祭りで田植え踊りを奉納していたんだけどね」ということでした。散り散りに避難する中、再開は難しいようです。

エアコンやトイレの修繕はこれからで「地域の皆さんの承認をもらいながら、お墓参りの時期などに利用できるよう整備を進められれば」などとおっしゃっていました。



津島行政区集会所



太鼓など郷土芸能の道具

津島には8つの行政区があります。拠点外となる地域においても、集会所を維持する行政区では災害時の避難所などとなる「点拠点」として、施設の除染が進められています。

先は長いと感じてしまいますが、こうした集会所や津島支所などが、地域の皆さんをつなぐ場所として活用されるよう願います。

今回は、
地域づくり支援専門員
今野 聡がレポートしました。



町のできごと

樋渡・牛渡行政区



子どもからお年寄りまでがやぐらを囲み踊る



盆唄を歌われる樋渡・牛渡鈴木区長

町内に戻ってきた『盆踊り』

7月23日(土)、樋渡・牛渡行政区の八坂神社において12年ぶりの盆踊りが開催されました。

八坂神社では、神楽と田植踊が奉納された後、町内や避難先から足を運んだ町民の皆さんが、やぐらを囲んで久しぶりの盆踊りを楽しみました。



樋渡・牛渡田植踊保存会の皆さん

今回は、
地域づくり支援専門員
東あすかがレポートしました。

